

# 事業所における自己評価結果

令和3年度の放課後等デイサービス自己評価を行いました。保護者様からいただいた貴重なご意見と自己評価をすり合わせた結果を公表いたします。  
 ご多忙の中、保護者様にはアンケートにご協力いただきありがとうございます。今後もサービスの向上に努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

令和4年2月公表

	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を行う視点からは、お子様の活動を見守ることができる広さと捉えています。</li> <li>・大人の事業と併設していますので、利用できる場所を活用して活動しています。今後も、お子様一人ひとりのスケジュールを工夫し、活動に適したスペースでの支援を行っていきます。</li> </ul>
	② 職員の配置数は適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定基準以上の人員を配置しています。</li> </ul>
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在ご利用いただいているお子様は、活動に支障なく過ごされています。新規で利用希望される方には、施設見学時に環境について確認していただいております。</li> <li>・室内の構造化、視覚的な手がかり、スケジュールの個別化等の配慮を行っています。</li> </ul>
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画については、支援担当者のまとめた記録をもとに支援計画案を作成し、会議参加支援者で話し合いをしています。また、日々の支援については、目標や環境設定を出勤支援者で確認して実施しています。</li> <li>・不在の支援者には、支援者間で情報共有を図るようにしています。</li> </ul>
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重なご意見、ありがとうございます。支援者全員で内容を確認し、事業所の自己評価をさせていただいております。</li> </ul>
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページにて公表することになっています。</li> </ul>
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、外部評価の予定はありません。次年度の外部評価については、施設の予定として実施するのかが検討する必要がありますので、話し合いをしております。</li> </ul>
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場における研修、オンラインを使つての研修の機会を設けました。</li> <li>・施設内においては、4月から開始した事業所と合同の会議を設け、ケース検討する中で支援の質の向上が図れるようにしています。</li> </ul>
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様にお配りするニーズ表や、お子様、保護者様との普段からのやりとり等をもとに支援計画を作成しております。困り感を少しでも改善方向にすすめるために、お子様の様子についての情報共有にご協力をお願いします。</li> </ul>
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所では、事業所作成のアセスメントシートを使用しています。</li> <li>・発達段階がわかる検査について、医療機関等の結果があるお子さまに関しては確認しています。</li> </ul>
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇中は支援者全員で話し合つて立案しています。その他の日の立案は、支援者が交代で行っています。</li> <li>・地域や外部と接点がある活動のなかには、役職と中心となつて動く支援者が相談しながら実行したものがありません。必要性がある場合は、役職と実行に向けた話をすすめていき、より良い活動になるよう努めています。</li> </ul>
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の記録を残し、前回の様子をお子様の様子をもとに活動を設定するようにしています。支援者が、記録を使用して振り返る行動をさらに意識できるようにしていき、活動の工夫につなげていきたいと思います。</li> <li>・お子様が安心して過ごすことができるように、意図的に固定化する場合があります。</li> </ul>
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日には取り組みの設定が難しい支援を、1日利用日や長期休暇日に設定するようにしています。支援回数を積み重ねていくために、支援前の打ち合わせでは支援目標の確認を行っていき支援実施を図っていきます。</li> </ul>
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活動作における困り感があったり一人で過ごすことを好まれるお子様であったりする場合に、個別活動における支援計画を作成しています。</li> <li>・個別活動から段階を経て集団活動へ場面展開することを見据えて、お子様の支援を実施しています。今後も、お子様が達成感や自信を得られるように活動設定に配慮してまいります。</li> </ul>
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日のスケジュール担当を中心に、支援がスムーズに提供できるように打ち合わせをしています。</li> <li>・集団活動については、支援が適切にできるように内容を検討して実施するようにしています。</li> <li>・支援が滞りなくできるように、支援担当や支援に必要な内容の共有をより丁寧に確認していきよう心がけていきます。</li> </ul>	

適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動については、目標と結果を記録に残して共有しています。</li> <li>・より客観的な振り返りができるように、支援を行う時の人員配置の工夫が必要でした。次年度は、支援者の動きや配置を留意していきます。</li> </ul>
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者同士で、記入された内容について確認することがあります。記録の書き方、記入すべき内容についての意識を高め、誰が読んでも理解しやすい記録にしていく必要があります。</li> <li>・保護者様との連絡帳については、必要時にはコピーをとり支援へ反映するようにしています。</li> </ul>
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおよそ6ヶ月に1回会議を行っています。</li> </ul>
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価の機会に基本活動を確認しています。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任もしくは児童発達支援管理責任者が参加していますが、支援体制に影響ない範囲内で支援担当者の参加も検討し実施していきます。</li> </ul>
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方と、主に送迎でお会いする時に送迎や利用に関するやりとりを行いました。お子様の様子についての情報共有ができていない学校がありましたので、事業所から先生にお声かけして情報共有を求めていく動きをしたいと思います。</li> </ul>
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は必要性はありませんでした。医療的ケア児を受け入れる場合は、支援者配置の変更が必要になってきますので、その点も含めて体制を検討していきます。</li> </ul>
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用前に、お子様の通所時の様子を見学させてもらうケースがありました。</li> <li>・必要時には、お子様の支援について直接または相談支援事業所を介して相談し、適切な支援方法を探っていきます。</li> </ul>
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の障害福祉サービス事業所へ移行の場合は、引き継ぎの機会を設けています。</li> <li>・会議等開催される時は積極的に参加するようにし、情報提供を行うようにしていきます。</li> </ul>
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域療育センターへ相談し、助言をいただくケースがありました。事業所内で困難と感じる困り事の改善やいち早い解消のためには、専門機関への相談は必須と考えております。適切な時期に相談していくようにしていきます。</li> <li>・次年度は県への支援依頼をかけております。</li> </ul>
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ警戒レベルが下がってから、児童館への外出を再開しました。</li> <li>・NPO法人長洲にここクラブさんからの声かけで、イベントへの参加も行いました。このご縁を大切に、引き続き交流や社会参加の場を設けていきたいと考えています。</li> </ul>
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時には毎回参加しています。リモートで参加できる時は、会の様子や研修内容を出動支援者全員で視聴するようにしています。</li> </ul>
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様と、お子様の状況について、捉え方の差異や誤解が生じないよう表現に気を付けてお伝えするようにしていきます。</li> </ul>
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設で研修会等は実施しておりません。個別にお話させていただいています。</li> <li>・近隣で行われる研修会があればお知らせするようにしていきます。</li> </ul>
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご契約時に説明していますが、ご質問等にいつでもお答えいたしますのでお気軽におたずねください。</li> <li>・支援内容、利用者負担、契約日数等に変更ある場合は、随時ご家庭へお知らせしていきます。</li> </ul>
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に連絡帳や電話、送迎時にお答えしております。ご家庭で取り組むことができる内容を提案していくように努めています。</li> <li>・相談の内容が、保護者様との連携や他機関との協働が必要な場合は、面談を設けていくようにします。</li> </ul>
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も、情勢に合わせて、大人の事業と子どもの事業が合同で行うBBQ会や夏祭りを中止しました。保護者様が集う機会を設定していません。</li> <li>・保護者様同士が顔見知りになる機会を逃さずに捉え、介入していくように努めていきます。</li> </ul>

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情窓口担当は香山(コウヤマ)となっております。窓口への連絡はありませんでしたが、現場責任者をご助言を承りました。事業所内で改善に向けて対応させていただきました。</li> <li>・お子様からの訴えにも、お子さまが安心感を得られように対処してまいります。</li> </ul>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、会報にて大人の事業と合同で活動の様子等を報告させていただいております。</li> <li>・評価項目にある「障がいのない子どもとの交流機会」「苦情への対応」について、その機会があった時は会報にてお知らせするようにしていきます。</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いには十分注意するよう徹底してまいります。</li> <li>・イベント参加に、感染者発生時に備えて参加者の個人情報の提供を求められることがありました。保護者様に、イベント参加の意思確認と必要な情報提供について改めて同意を得るようにしていきます。</li> </ul>
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様とのやりとりは、お子様に伝わりやすい形で行うように努めています。保護者様には、内容によって適した形式(連絡帳、電話、直接お会いして等)をとってお伝えするようにしています。</li> <li>・大事な内容がお忙しい保護者にも伝わるように、事業所から保護者様への積極的な連絡を行うことがありますことをご了承ください。</li> </ul>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、事業所主催での地域の方と関わる機会は中止にいたしました。</li> </ul>
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯、感染症に関しては、これからも内容の改善や更新を重ねていく必要があると感じています。</li> <li>・起きているまたは起きるであろう事態への対応は、マニュアルや県からの通達に沿って、保護者様へ適宜発信していきます。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回、児童と大人の事業と合同で火災時と地震時の避難訓練を実施しています。</li> <li>・災害時の避難場所は、腹赤小学校(地震時)、こどもの海保育所(水害時、土砂災害時)としています。</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回は虐待に関する内容を確認する時間を設けています。</li> <li>・毎日行うサービス提供前の打ち合わせ時間に、児童発達支援管理責任者が中心となって支援行為の適切さを振り返る機会を設けるようにしています。日々の支援行為をじっくり振り返ることで、支援者が人権や尊厳を考えた支援をさらに意識できるように努めていきます。</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束は行っておりませんが、支援の中でどのような訓練を行うのかを保護者様と確認を行うようにします。</li> <li>・支援の中で怪我等の危険性が考えられる場合は、保護者様と話し合いを行い、計画に記載していきます。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様にアレルギー症状の確認を行っております。医師の指示書がある場合は、事業所への提出をお願いするようにします。</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット、事故報告集の作成をし、いつでも確認できるようにしています。</li> <li>・支援者の意識によって改善できる事象については、主任から会議や打ち合わせ等で発信があり、支援者一人ひとりの動きを振り返るようにしています。</li> </ul>